

～ 在ハンガリー日本大使館 ～

2013 年 9 月

- Monthly Review -

全 25 頁

政治・経済月報(8月号)

政治・内政

- 次期オンプズマン及び国家メディア通信庁新長官に、それぞれ与党に近い人物が指名された
- 建国記念日に際し、アーデル大統領及びオルバーン首相がスピーチ
- 野党間における選挙協力合意成立：両党共通の首相候補は擁立せず、全国比例代表名簿も個別に提出。他方、小選挙区においては両党統一候補を擁立。

政治・外交

- 昨今のハンガリー政治家の発言等をめぐり、ハンガリー・ルーマニア関係が悪化
- 岸田外務大臣：ハンガリー訪問（日八外相会談，オルバーン首相表敬等）
- ハンガリー外務省：シリアの化学兵器使用報道に関し、非難声明発表。

経済・社会

- I M F ローンの繰上返済の実施
- 第 2 四半期 G D P (未調整) 前年同期比 + 0.5% (速報)
- ハンガリーへの E U 補助金の支給停止

インフレ率	(y/y)	(2013 年 7 月)	1.8% (食品：2.8% エネルギー：-8.8%)
		(2012 年平均)	5.7% (食品：5.9% エネルギー：6.2%)
賃金上昇率	(y/y)	(2013 年 6 月)	3.7% (民間：2.8% 公的：6.5%)
		(2012 年平均)	4.6% (民間：7.2% 公的：-1.7%)
鉱工業生産	(y/y)	(2013 年 6 月)	-0.6%
		(2012 年平均)	-1.7%
失業率(15-74 歳)		(2013 年 5 月～ 2013 年 7 月平均)	10.1%
政策金利		(2013 年 8 月末)	3.8% (8 月 27 日に 0.2% 利下げ)
10 年国債利回り			6.31%
為替相場	(月中平均)	・ 1 ユーロ	= 299.36 フォリント
		・ 1 ドル	= 224.90 フォリント
		・ 1 フォリント	= 0.44 円

《今月のトピックス》

内 政

- 1 オーズド市の水騒動
- 2 ブダペスト地裁：ロマ連続殺害事件実行犯に終身刑
- 3 アーデル大統領：次期人権オンブズマンにセーケイ氏を指名
- 4 ナチス戦犯チャターリ・ラースロー被告の死亡
- 5 ミシュコルツ市の病院における未熟児連続死亡事件
- 6 オルバーン首相：国家メディア通信庁新長官にカラシュ女史を推薦
- 7 オルバーン首相：建国記念日のスピーチ
- 8 アーデル大統領：建国記念日のスピーチ
- 9 野党選挙協力をめぐる動向
- 10 野党間における選挙協力合意成立

外 政

- 1 ハンガリー・ルーマニア関係
- 2 岸田外務大臣のハンガリー訪問
- 3 シリア情勢に関するハンガリー外務省声明
- 4 マルトニ外相とタディッチ前セルビア大統領との会談

経 済

- 1 国家経済相：外貨建て住宅ローン債務者の救済措置の策定期限
- 2 国家経済相：IMFローンの早期繰上返済の経済効果
- 3 中央銀行：「成長のための資金スキーム」の申請期限を延長
- 4 中央統計局：5月の貿易収支が6.4億ユーロの黒字（確定）
- 5 中央統計局：6月の小売売上高が前年同月比0.4%減少
- 6 欧州中央銀行：金融監督局の中央銀行への統合案を容認
- 7 中央銀行：「成長のための資金スキーム」の利用条件を緩和
- 8 中央銀行：中央銀行によるIMFローンの繰上返済の実施
- 9 MOL社：クロアチアからの原油輸送を開始
- 10 猛暑により、農業分野は1,000億フォリントの損失を被る可能性
- 11 地方開発省次官：今年の小麦の収穫量は510万トンとなる見込み
- 12 中央統計局：6月の宿泊者（宿泊日数）が前年同月比3.8%増加
- 13 中央統計局：6月の貿易収支が5.83億ユーロの黒字（速報）

Hungary

- 14 政府：10万 ha の農地を農家に貸出
- 15 政府：ハンガリー産野菜・果実の生産増大戦略を検討
- 16 国家開発省：地熱エネルギー、炭化水素採掘権の入札を開始
- 17 政府：IMFローンの繰上返済の実施
- 18 中央統計局：7月の消費者物価指数は+1.8%
- 19 マジャール・スズキ社：EU補助金を獲得
- 20 中央統計局：第2四半期GDP(未調整)前年同期比+0.5%(速報)
- 21 中央統計局：6月の鉱工業生産が前年同月比0.6%減少
- 22 中央統計局：6月の建設生産が前年同月比12.4%増加
- 23 中央統計局：6月の農産物生産者価格が前年同月比6.5%上昇
- 24 EU：ハンガリーへのEU補助金の支給停止
- 25 中央統計局：2013年1-6月期の平均賃金(グロス)が3.4%増加
- 26 首相府長官：EU補助金支給停止をめぐり欧州委員会と会談の意向
- 27 中央銀行：外貨建てローン債務者の債務免除を提案
- 28 中央統計局：2013年5-7月期失業率は10.1%
- 29 中央銀行：基準金利を3.80%に引下げ
- 30 銀行協会：外貨建てローン債務者の救済措置案を政府に提示
- 31 首相府：EU補助金制裁は250億~1,250億フォリントの見込み
- 32 国家経済省：2014-2020年のEU補助金の用途
- 33 国家経済相：外貨建てローン債務者の救済措置の検討状況
- 34 中央銀行：「成長のための資金スキーム」に1,840億フォリントの申込み
- 35 中央統計局：2013年第2四半期の投資が前年同期比4.6%増加
- 36 中央統計局：7月の鉱工業生産者価格が前年同月比0.2%上昇
- 37 首相府長官：インド訪問

その他

- ・ 8月の為替・金利動向
- ・ 8月の選挙・支持政党に関する世論調査
- ・ 主な出来事

本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。

内 政

1 **オースド市の水騒動** (5 ~ 9日)

5日付『ネーブサバッチャーグ』紙及び『ネーブサヴァ』紙(共に左派寄り全国日刊紙, 政府・与党に批判的)は, ボルショド=アバウーイ=ゼンプレーン県オースド市のロマ人地区の共用井戸の一部が, 市議会の決定により使用できなくなった旨報じた。報道の前日4日には, ジュルチャー二元首相・野党民主連合(DK)代表が, 「オースド市のジプシー居住地区の水供給が停止されたことは, 明白な人種主義である」と批判するコメントを発出していた。これに対して, フュレシュ・オースド市長(フィデス)は, 「供給水量は制限されているものの, 全ての住民が飲料水を確保することができる」と述べた。ちなみに, 8月上旬のハンガリーでは全国的に連日40近い猛暑が続いていた。

オースド市議会(国政与党フィデスが多数派を占める)は, 本年6月, 無駄遣いと盗みを防止する目的で, 全123か所ある共用井戸のうち27か所を閉鎖すると共に, 61か所における供給水量を毎分5リットルに制限する決定を下していた。公共井戸の不法な利用によって, 年間1千万フォリント相当の支出がかさんでいる(ヴィターリシュ・フィデス市議会議員)との声も聞かれている。

5日, フュレシュ市長は, 「村予算によって賄われている井戸水は, 飲料水としての利用されるべきものであり, 洗車用ではない。右を理解していない人が少なくない」と述べた。社会党のニャコー国会議員は, フュレシュ市長と面会し, 水道未整備の貧しい地域にも飲料水を行き渡らせるために, 猛暑の間は水量制限を解除すべきであると主張し, 市議会の決定を「人道に反するもの」として批判した。ヴァルキュー民主連合(DK)国会議員は, 水浴びが出来なくなったと申告した住民に対し, ミネラルウォーターを配布したことを明らかにした。「共に2014年」のユハース共同代表は, 本件に関してオンブズマンの審査を依頼する意向を明らかにした。

7日, ピンテール内務相は, 連日の猛暑に配慮して, オースド村の水量制限を解除するよう指示した。フュレシュ村長は, 「右派も, 左派も, 村議会が合法的に水量制限を決定し, また, 全ての住民が飲料水を確保できていることを知っている。水量制限は2日に始まったが, 猛暑によって状況は一変した」と釈明した。9日, オースド市の共用井戸の水量制限は解除された。

2 **ブダペスト地裁：ロマ連続殺害事件実行犯に終身刑** (6 ~ 15日)

6日, ブダペスト地裁において, 2008年から2009年にかけてタタールセントジェルジ村の父子を含む計6名のロマが各地で連続して殺害された事件の判

決が下された。「人種主義的な動機により殺害に及んだことは道徳的に受け容れられない」として、実行犯3名に終身刑，運転手として殺害を幫助した1名に対して懲役13年がそれぞれ言い渡された。

15日，バログ人材相は，政府として犠牲者の遺族に賠償金を支払う用意がある旨発表した。金額については明らかにされていない。

3 **アーデル大統領：次期人権オンブズマンにセーケイ氏を指名**（8～9日）

アーデル大統領は，9月24日に6年間の任期を満了するサボー人権オンブズマンの後任として，セーケイ E L T E 大学国家法学部教授を指名する意向を明らかにした。セーケイ教授は，第一次・第二次オルバーン政権を通じて，ハンガリー・スロバキア間で係争中のガブチコヴォ・ナジマロシュ・ダム建設問題を担当する政府コミッショナーを務めており，また2010年には現政権より新民法案の調整役を任されたことでも知られる。

アーデル大統領によれば，「熟慮，適切な協議（注）及び良心」に基づき，確信を持ってセーケイ氏を指名したとの由。与党フィデスは，セーケイ氏の指名を通常国会で承認する見込み。これに対して，野党第三党「新しい政治の形」（LMP）のシッフェル共同代表は，「憲法問題に関して全く経験を持たないセーケイ氏が次期オンブズマンに指名されたことに失望を感じている」と反発した。最大野党社会党及び野党第二党ヨッビクは，セーケイ氏の指名が適切か否か，次回国会議員団会合で協議する。

9日，野党民主連合（DK）は，次期オンブズマン任命に係る採決を棄権する方針を表明した。モルナールDK副代表は，右根拠として「専門家としては適切であるが，フィデスに近い人物である以上，独立したオンブズマンとして政治的・倫理的な決定を下せるか疑問である」ことを挙げている。

（注）6日，アーデル大統領は，国会各党代表者と面会し，オンブズマン後任人事に関し，意見交換する機会を持った。

4 **ナチス戦犯チャターリ・ラースロー被告の死亡**（12日）

ナチス戦犯のチャターリ・ラースロー被告が，肺炎のためブダペスト市内の病院で死亡した。享年98歳。チャターリ被告は，第二次大戦中のカッシャ（スロバキア名：コシツェ）・ゲッターの司令官として，1万人超のユダヤ人のアウシュヴィッツ強制収容所移送に関与した等の容疑で2012年7月に身柄を拘束されるまで，戦後60年間にわたってカナダなどで潜伏生活を送っていた（当館月報2012年7月号7～8頁参照）。シモン・ヴィーゼンタール・センターは，

「チャターリ被告が法の裁きから逃亡したことに對し、深く失望している」とコメントを發出した。

5 **ミシュコルツ市の病院における未熟児連続死亡事件** (12~16日)

5日から10日にかけて、ミシュコルツ市内のボルショド＝アバウーイ＝ゼンブレン県立病院及び大学病院で未熟児8名が死亡した事実が明らかとなったことを受け、12日、オルバーン首相は事態の真相究明を指示した。同日、ソーチカ人材省次官は、同病院院長を更迭した。国家警察も犯罪性の有無の捜査に乗り出した。

翌13日、ソーチカ人材省次官は、8件の未熟児死亡のうち4件については、死因が特定されているが、各事例の間に相互連関は見られない、また、感染症の疑いについては検査に2週間程度掛かる旨明らかにした。

野党社会党のショーシュ国会議員は、「現政権が医療関連の支出を削減したため、過去3年間でハンガリーの医療水準は劇的に低下した」と政府・与党を批判した。

14日、9人目の未熟児の死亡が確認された。16日、バログ人材相は、国営ラジオ番組で感染症の疑いについて言及した。

6 **オルバーン首相：国家メディア通信庁新長官にカラシュ女史を推薦** (19日)

14日、オルバーン首相は、本年4月にサライ・アンナマーリア女史が病死したため空席となっていた国家メディア通信庁新長官候補として、カラシュ・モーニカ女史を推薦した(19日付)。任期は9年間。報道によれば、カラシュ氏は、右派政府・与党寄りメディアとして知られる『マジャル・ネムゼト』紙やHir TVで顧問弁護士を務めた経験があるほか、オルバーン首相の親族が経営する会社に対して訴訟が提起された際に弁護を引き受けたことがあるとされる。

カラシュ女史が推薦されたことを受け、野党各党政治家からは「フィデスのメディア政策は、国内の反発やEUとの約束を無視するかのようにならなくなっていない」(レンドヴァイ前社会党党首)、「共和国大統領、司法のトップ、憲法裁判所裁判官の多数派、中銀総裁及び会計検査院長官が、オルバーン首相の息のかかった人物たちで独占されている。メディア監督当局の長だけ話は別ということがあるだろうか」(モルナール民主連合副代表)等批判の声が多数聞かれた。「ハンガリーのための対話」幹部のカラーチョニ国会議員は、「アーデル大統領は、カラシュ女史の指名を決して承認すべきではない」と訴えた。

19日、アーデル大統領は、オルバーン首相による推薦を踏まえ、カラシュ女

史を国家メディア通信庁長官候補として指名した。9月9日、国会は、政権与党による賛成多数でカラシュ新長官を選出した。野党第二党ヨッビク及び第三党「新しい政治の形」(LMP)は反対票を投じ、最大野党社会党は採決を棄権した。

7 **オルバーン首相：建国記念日のスピーチ** (19日)

19日、オルバーン首相は、セーケシュフェヘルヴァール(以下、「セ」)市にて、建国記念日(20日)に際してのスピーチを行ったところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。なお、同日、オルバーン首相以下政府閣僚は、チェル＝パルコヴィッチ「セ」市長(与党フィデス国会議員)同席のもと、特別閣議を開催した。

聖イシュトヴァーン王の功績を抜きにして、自立したハンガリー民族について語ることは難しい。ハンガリー民族が生き残れたのは、聖イシュトヴァーン王以降連綿と連なる歴代指導者のおかげである。

イシュトヴァーンが王に選ばれた頃のハンガリー部族は、内部から弱体化し、周辺諸国から攻撃を受ける国であった。聖イシュトヴァーン王は、祖国と人民を分裂から救った。

聖イシュトヴァーン王は、良き指導者であっただけでなく、良き夫、良き父、良きキリスト教徒、そして一人の良き人間として我々の心に刻まれている。建国の王を記念するため、我々はここに集った。建国記念日の機会を捉え、「セ」市にて)閣議を開催する。閣議の開催は、敬意の表明である。

過去数年来「セ」市は、政府と共同で大小807の開発事業に着手している。そのうち378件は既に完遂された。政府は、「セ」市の抱える負債の70%に当たる95億フォリントを肩代わりし、街が負債の隷属的状况に陥る前にこれを救い出した。この決定も「セ」市に敬意を表してのものである。

8 **アーデル大統領：建国記念日のスピーチ** (20日)

アーデル大統領は、ブダペスト市内英雄広場で行われた建国記念日行事においてスピーチを行ったところ、概要以下のとおり。

隣人、友人、親類あるいは祖国が我々に何をしてくれるのかを問題にすべきではない。我々自身何が出来るのかが重要である。

我々皆が国家を形成している。他の誰かが第一歩を踏み出すのを待っていては、我々の生活は向上しない。

ハンガリー人は、歴史上成功した民族である。隣人たちと合意することが出

来れば、ハンガリーは最強の国になるであろう。（共同体として）一つにまとまった行動と相互に敬意を払うことが重要だ。

9 **野党選挙協力をめぐる動向**（23日）

メシュテルハージ社会党党首及びバイナイ前首相（「共に2014年」「ハンガリーのための対話」選挙連合（E2014-PM）代表）は、選挙協力に向けた交渉を行った後、共同記者会見に臨んだところ、国営ハンガリー通信（MTI）が報じた両政党代表の発言概要以下のとおり。

（1）メシュテルハージ社会党党首

全国106小選挙区においてハンガリー史上初となる予備選挙を実施し、最終的な首班候補について決定することを提案した。

どんなに遅くとも10月までに選挙協力交渉を終わらせたい。

仮に、E2014-PMが単独の比例代表名簿を提出したとしても、10%の足切りを超えられるとは思えない。

仮に予備選が行われないことになれば、社会党は他政党との選挙協力に向けた協議を開始する。

（2）バイナイ前首相

35選挙区をE2014-PMに、残り71選挙区を社会党に配分することで両党が合意することが望ましい。共同比例代表名簿も小選挙区同様の比率に出来れば良い。

首班候補は、民主的野党の支持者と無党派層・浮動層が決めるべきである。首班候補に名前の挙がっている2名が短期間のキャンペーンを行い、世論調査結果を踏まえた上で、最終的に統一首班候補が決定されるのが好ましい。

10 **野党間における選挙協力合意成立**（29日）

29日、メシュテルハージ社会党党首及びバイナイ前首相（「共に2014年」「ハンガリーのための対話」選挙連合（E2014-PM）代表）は、1時間30分に及ぶ選挙協力に向けた交渉を行い、野党共通首相候補を擁立しないこと等を含む合意に達したところ、両党合意の概要は次のとおり。

社会党及びE2014-PMは、両党共通の首相候補を擁立しない。

全国106小選挙区において両党統一候補を擁立する。内、社会党は、75選挙区で、E2014-PMは、31選挙区（首都ブダペストの7選挙区、ペスト県の5選挙区、ミシュコルツ市、デブレツェン市、セゲド市、ジュール市、カポシュヴァール市の各1選挙区等）で候補者を擁立する。

他方、全国比例代表名簿は、個別に提出する。

比例代表名簿で最も多くの票を獲得する党を率いる者が、新しい左派政権の首班となる。

外 交

1 ハンガリー・ルーマニア関係 (10～15日)

(1) ヴォナ・ヨッピク党首の発言及び右に対するルーマニアの批判

10日、ルーマニア・ボルゾントで開催中のエルデーイ・マジアル(トランシルヴァニア・ハンガリー)青年協会主催のサマー・キャンプに参加中のヴォナ・ヨッピク党首は、「ハンガリーの利益を体現するにあたり、ルーマニアとの紛争が避けられないような場合は、紛争もやむを得ない」と発言した。

11日、ルーマニア外務省は、「ヨッピク党首の発言を非難する。ハンガリー政府に対してヨッピク党首の発言を退けるよう要請する」旨声明を発出した。これを受け、ハンガリー外務省は、「ハンガリー政府は、ハンガリー・ルーマニア戦略的パートナーシップの基本理念及び目標達成にコミットしている。国会野党であるヨッピクは、政権運営に関与しておらず、一切の責任を共有していない。」とする声明を発出した。

(2) バセスク・ルーマニア大統領によるハンガリー批判

12日、ルーマニア・ハルギタ県で開催中の国境外ルーマニア人共同体の代表者が集うサマー・キャンプに特別ゲストとして登壇したバセスク・ルーマニア大統領は、自身の講演中ハンガリーを批判する発言を行ったところ、概要以下のとおり。

ルーマニアでハンガリー人自治州を制定したのはスターリンだけである。民族による行政区分を望む者たちは、我々をスターリン主義者と混同している。

ハンガリーが原因で、マイノリティの処遇問題が不安定要因となってしまった。ルーマニアは、ハンガリーの非をただすために中心的な役割を担う。

ハンガリーの政治家が、ルーマニア領内で不相応な発言をするのも本年が最後となろう。本年と同様に行われるのだとすれば、2014年のバールヴァーニョシュ夏期自由大学の開催は許可されない。

(3) バセスク大統領発言に対するハンガリー外務省声明

13日、ハンガリー外務省は、本件に関する声明を政府公式ウェブサイトに掲載したところ、概要以下のとおり。

12日、フュゼシュ駐ルーマニア・ハンガリー大使は、ルーマニア外務省に対し、今般のバセスク大統領の発言に関するハンガリー政府の立場を説明した。

ハンガリーは、地域の安定化にコミットしており、人権や民族共同体の権利を保障することを当然と考える。

民族共同体を保護することは、ハンガリー・ルーマニア双方にとっての利益であり、右分野においても対話と協力の努力を惜しまない。

(4) ハンガリー外務省：ミクラ駐ハンガリー・ルーマニア大使を召致

15日、ネーメト外務政務次官は、ミクラ駐ハンガリー・ルーマニア大使を召致したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

ネーメト外務政務次官は、ミクラ駐ハンガリー・ルーマニア大使を召致し、コルラツェアン・ルーマニア外相による8月13日付のコメント及び『ガンドゥル』紙に掲載されたインタビュー記事における発言を拒絶する旨伝えた。

コルラツェアン外相は、2010年に制定されたハンガリーの国民連帯法が、ハンガリー民族のためのカルパチア盆地を奪回する趣旨を含んでいるほか、ヴェルサイユ平和体制に対して疑義を投げかけるものであると発言した。ハンガリーは、右発言を拒絶する。

コルラツェアン外相は、ハンガリーの国籍法に関して、ハンガリー系住民の国籍付与は民族性を基にしたものであるかのように発言したが、ハンガリー外務省は右を拒絶すると共に否定する。根拠のない発言は、ハンガリーの評判を貶め、ルーマニアのハンガリー人を脅迫することに繋がりがねない。

2 日・ハンガリー外相会談 (23日)

23日、ハンガリーを訪問した岸田外務大臣は、マルトニ外相と会談、社会保障協定に署名した後、共同記者会見に臨んだところ、ハンガリー政府公式ウェブサイトに掲載された両外相発言概要以下のとおり。なお、岸田外務大臣は、翌24日、エステルゴムのマジャール・スズキ社工場及びV4発祥の地として知られるヴィシェグラードを視察し、次の訪問地キエフへと向かった。

(1) マルトニ外相

日本は、ハンガリーにとって特別に重要な戦略的パートナーであり、同盟国であり、友人である。

社会保障協定は、他方の国で働いた時間を（自国における）年金に算入することを取り決めたものである。同協定によって日本企業の更なるハンガリーへの投資を呼び込むとともに、両国経済関係の発展に寄与するだろう。

両国は、エネルギー分野における協力を特に重視している。エネルギー備蓄容量の拡大や環境にやさしいクリーン・コール・テクノロジーの応用についても協議すべきである。ハンガリーからは日本への農産物輸出を拡大したい。

ハンガリーは、奨学金を給付することで日本からの留学生を増やしたい考え

である。

ハンガリーは、原発を拡大するに当たり、人間や財産の徹底した安全を含む多くの項目を考慮に入れる必要がある。

ハンガリーは、日・EU・EPAに向けた協議の開始を推奨し、後押しするEU加盟国の1つである。

日本は、対ハンガリー関係だけを重視しているのではなく、より広範な（中・東欧）地域に対して関心を示しており、非常に喜ばしいと述べた。

（2）岸田外務大臣

（マルトニ外相に同意しつつ）社会保障協定は、ハンガリー及び日本企業から見て非常に重要である。

（記者からの質問に対して）パクシュ原発の拡大計画に関し、日本は安全技術分野における世界水準の知識と経験をハンガリーに提供することができるし、またそうしたい。

本年6月にワルシャワで開催されたV4 + 日本首脳会談のフォローアップとして、日本とV4とを結び付ける重要な役割を担うV4議長国・ハンガリーとの関係を強化したい。今秋には、ハンガリー日本専門家セミナー（当館注：ODAセミナー等）が開催される。2014年には、ハンガリーとより緊密に連携しつつプログラムを提供したい。

政府高官レベルでの会合を行うことは、両国にとって重要かつ特別なことである。本年11月には、オルバーン首相の日本訪問が予定されている。

3 シリア情勢に関するハンガリー外務省声明（26～28日）

（1）ハンガリー外務省

26日、ハンガリー外務省は、シリアにおける化学兵器使用報道に関し、「ハンガリー外務省はシリアの化学兵器攻撃を非難する」と題する非難声明を発表したところ、概要以下のとおり。

ハンガリーは、2013年8月21日に多大な犠牲者を引き起こしたシリアでの化学兵器攻撃を強く非難する。

既に2年以上続いている反乱及びアサド政権による自国民に対する残酷な行動は、これまでに十万人以上の死者、多数の負傷者、約二百万人の避難者を伴う深刻な人道的危機を引き起こした。他方、今回の化学兵器攻撃は、疑いなく一定の限界を超えるものである。

我々は、国連調査団が、アサド政権による当初の反対にも拘わらず、この悲惨で不当な行動が誰の責任であるかを調査する可能性を最終的に得たことを歓迎する。我々は、国連調査団が効果的にそして妨害なく調査を行うことが非常

に重要であると考え。ハンガリーは、アサド政権との関係を最初に断ち切った国の一つである。その後続いている悲劇的な出来事及び多大な市民犠牲者の数は、この決定が根拠あるものであったことを良く示している。

(2) カレタ外務省報道官

28日、カレタ外務省報道官は、シリア情勢に関し、ハンガリー国営通信(MTI)に語ったところ、政府公式ウェブサイトによる概要は次のとおり。

28日、カレタ・ガーボル外務省報道官は、MTIに対し、ハンガリーは、国連化学兵器調査団による調査結果、またその結果後、同盟国との継続的な協議を踏まえて、あり得る軍事行動に対する立場を固めることを待っている。

「カ」報道官は、同盟国と続けられている協議の内、9月6～7日にビリニウスで開催されるEU非公式外相会合が重要な場になるだろうと述べた。

「カ」報道官は、ハンガリーは、シリアでの対立勃発以降、継続してまた一貫して多くの人命を奪い、さらに多くの負傷者や難民をも引き起こした暴力的行為を非難していると語った。また、同報道官は、ハンガリーは既にアサド政権との関係を断ち切っており、この決定が正しかったことをその後の事実が示していると述べた。

「カ」報道官は、先週の化学兵器攻撃は、正当化できるものではない旨述べた。水曜日(28日)、国連化学兵器調査団は、ダマスカス郊外で2カ所目の調査を行った。同現場の反体制派は、先週、アサド大統領に忠誠を誓う軍隊が化学兵器を投入し、100名以上が死亡したと訴えている。

潘基文国連事務総長は、調査団が現場でのサンプルを採取するまで4日が必要であると述べた。その間、ますます多くの国が、国連の承認なく米国主導のシリアに対する軍事行動に参加する準備が整っている旨表明した。

シリアの反体制派を支持するサウジアラビア、カタール、アラブ首長国連邦も軍事的解決に前向きである。豪州、オランダ、トルコ、リトアニアも(軍事)介入支持派である。スウェーデン及びイタリアは、国連の承認を得た場合に軍事行動を支持するだろう。(軍事)介入には、ロシア、中国そしてイランの3か国が主に反対しているが、ポーランドやオーストリアも介入を支持していない。

4 マルトニ外相とタディッチ前セルビア大統領との会談 (27日)

27日、マルトニ外相は、当地を訪問したタディッチ前セルビア大統領と会談したところ、政府公式ウェブサイトによる概要は次のとおり。

(1) 27日、マルトニ外相は、「聖ラースローアカデミー基金」(当館注：ハンガリー人による世界的組織「ハンガリー人世界連盟(MV SZ)」によって設立された民間機関。ハンガリー学について講演会を開催している。)の招待により

ハンガリーを訪問したボリス・タディッチ・前セルビア大統領と会談した。

(2) 両者は、セルビアの欧州統合について協議した。タディッチ前大統領は、セルビアのEU加盟候補国の地位獲得及びEU加盟交渉開始の際のハンガリーからの支持を高く評価した。マルトニ外相は、セルビアの加盟プロセスは、新たなプロセスの開始及びこれまで行われた作業の進展により、ますます後退させることが出来ないものになると強調した。

(3) マルトニ外相は、ハンガリーは、より広い中欧という概念をさらに広めていくことを望んでおり、この鍵となるものがヴィシエグラード協力であると強調した。同外相は、次の10年、中欧は欧州において統合過程を含むより重要な役割を果たすことを確信していると述べた。

(4) マルトニ外相は、両国間の平和の重要性を強調し、2013年6月26日、アーデル大統領とニコリッチ・セルビア大統領が第二次世界大戦のハンガリー人及びセルビア人の犠牲者を一緒に追悼したことは特筆すべきことであると述べた。この行動は、2つの国民の歴史の一章を閉じ、二国間関係の今後の発展に道を開くものである。

(5) 更に両者は、セルビア及びヴォイヴォディナ地方の内政状況及びセルビア経済の見通しについて協議した

経 済

1 **国家経済相：外貨建て住宅ローン債務者の救済措置の策定期限** (1日)

ヴァルガ国家経済相は、ラジオ放送のインタビューに応え、返済が困難な状況にある外貨建て住宅ローン債務者の救済措置の策定期限を9月初旬に設定し、そこまでに策定できなければ、政府として一方的な措置を講ずると明言した。期限を9月初旬とした理由は、9月30日が次年度予算案を提出する期限であり、そこまでに救済措置に係わる政府負担額を確定させなければならないためとした。なお、同相によれば、外貨建て住宅ローン債務者の数は全国で73万人にのぼり、うち48.8万人が過去に実施された救済策を利用しているとのこと。

2 **国家経済相：IMFローンの早期繰上返済の経済効果** (1日)

ヴァルガ国家経済相は、IMFローンの早期繰上返済は、50億フォリントの利息・手数料支出の削減に繋がると発言した。8月29日、同相はハンガリー政府が約22億ユーロのIMFローンを、2014年3月の期限を待たず、本年9月12日までに返済することを明言していた。政府は、返済資金のほとんどを中央

銀行にある国債勘定の外貨預金から支出する予定であるが、返済後も中央政府の準備金は安全な水準を維持し得るとした。

3 **中央銀行：「成長のための資金スキーム」の申請期限を延長**（1日）

中央銀行は、中小企業への貸付資金の無利息融資等を柱とする「成長のための資金スキーム」の資金枠 7,500 億フォリントの申請期限を 1 カ月間延長し、9 月末とすることを発表した。

4 **中央統計局：5月の貿易収支が6.4億ユーロの黒字（確定）**（2日）

中央統計局は、2013 年 5 月の貿易収支が、6.4 億ユーロの黒字で確定したと発表した。

また、2013 年 1 - 5 月期は、輸出と輸入がそれぞれ前年同期比 + 2.4%、+ 2.5% の増加となり、貿易収支は、前年同期実績を 2.46 億ユーロ上回る 31 億ユーロの黒字で確定した。なお、EU 加盟国との取引の割合は、輸出が 76%、輸入が 70% を占めた。

5 **中央統計局：6月の小売売上高が前年同月比0.4%減少**（5日）

中央統計局は、2013 年 6 月の小売売上高が前年同月比 0.4% 減少したと発表した。内訳を見ると、食料・飲料・タバコが 1.9%、食料品以外の小売りが 0.5% の減少、自動車燃料が + 2.4% の増加となった。

6 **欧州中央銀行：金融監督局の中央銀行への統合案を容認**（5日）

欧州中央銀行（ECB）は、ハンガリー金融監督局を中央銀行に統合するプランを容認する旨の見解を表明した。今回の統合案が実現すれば、金融を安定化させ、システム・リスクを低減させる中央銀行の機能の向上に資するとする。一方で、金融監督機能の移管により、中央銀行の有する金融の独立性等が脅かされるようなことがあってはならないと注文を付けた。

なお、ハンガリー政府は本年 6 月に金融監督局の機能を中央銀行に統合する法案を国会に提出していた。同法案が可決された場合、中央銀行には、従来の金融、資本、保険市場の監視機能に加え、これまでは金融監督局が担ってきた消費者保護等の機能が与えられることになる。

7 **中央銀行：「成長のための資金スキーム」の利用条件を緩和**（5日）

中央銀行は、「成長のための資金スキーム」の利用条件を緩和することを決定した。当初、中央銀行は、本年6月に開始した同スキームの下で、7,500億円の資金枠を用意し、うち4,250億フォリントをフォリント建ての新規ローンの資金枠として、また、残りの3,250億フォリントを外貨建てローンからフォリント建てローンへの借換えの資金枠として活用する予定であったが、後者の借換への利用申請が計画を下回ったため、借換え向けの資金枠を新規向けにも活用できるよう利用条件を緩和した。

8 **中央銀行：中央銀行によるIMFローンの繰上返済の実施**（6日）

中央銀行は、2009年にIMFから受け入れたローンの残額約6.3億SDR（約720ユーロ）を期限前に一括返済したことを明らかにした。同行によれば、今回の繰上返済による外貨準備の健全性への影響はないとのこと。

9 **MOL社：クロアチアからの原油輸送を開始**（6日）

ハンガリー石油ガス会社（MOL社）は、JANAF・アドリアパイプラインを通じて、クロアチアのオミシャリ港からハンガリー内の精製所へ原油の輸送を開始した。MOL社は、最近、同パイプラインを通じて8月1日から12月31日にかけて24万トンの原油を輸送することに合意していた。

10 **猛暑により、農業分野は1,000億フォリントの損失を被る可能性**（7日）

猛暑によりハンガリー農家は900～1,000億フォリントの損失を被る可能性があるとの穀物生産者協会GOSZのヴァンチュラ会長の発言を引用し、当地経済紙ヴィラーグガスダシャーグ紙が明らかにした。同会長は、今年のトウモロコシの収穫について既に200万トンのトウモロコシが猛暑の被害を受けており、合計600万トンに達しない見込みであり、ヒマワリ種子の収穫についても猛暑の影響を受けていると述べた。また、農業経済学者であるラスコー氏は猛暑による飼料用トウモロコシの品質低下により牛乳生産も影響を受けていると述べた。

11 **地方開発省次官：今年の小麦の収穫量は510万トンとなる見込み**（7日）

地方開発省のツェルヴァーン農業担当次官は、今年の小麦の収穫量は510万トンになるとの見通しであり、今年1haあたりの収穫見込量は4.7トンとなり、昨年1haあたり3.7トンよりも増加していると述べた。また、同次官は、猛暑がトウモロコシとヒマワリ種子の収穫量に影響を与える可能性を示唆し、トウモロコシの収穫見込量は550～600万トンとなると述べた。なお、同収穫見込量は、当初の見込量より200万トン減少している。

12 **中央統計局：6月の宿泊者（宿泊日数）が前年同月比3.8%増加**（8日）

中央統計局は、6月の宿泊者数（宿泊日数）が前年同月比3.8%増加したと発表した。国内の宿泊者と海外からの宿泊者（宿泊日数）がそれぞれ2.9%、4.7%増加した。

ドイツ、オーストリアといった主要国からの宿泊者数（宿泊日数）が減少したが、米国、ロシア、英国からの宿泊者数（宿泊日数）が大幅に増加した。

13 **中央統計局：6月の貿易収支が5.83億ユーロの黒字（速報）**（8日）

中央統計局は、2013年6月の輸出と輸入がともに前年同月比3.0%、0.3%の減少となったものの、同月の貿易収支は、5.83億ユーロの黒字となったと発表した。

また、2013年1-6月期は、輸出、輸入ともに前年同期比+0.9%の増加となり、同期の貿易収支は、前年同期実績を0.61億ユーロ上回り、37億ユーロの黒字となった。

14 **政府：10万haの農地を農家に貸出**（8日）

地方開発省のブダイ国家食糧プログラム担当次官は、家族経営農家に対して更に10万haの国有農地を貸し出すための応募を開始すると述べた。5月、政府は4万haの国有農地を貸し出しており、今回の応募の結果、合計14万ヘクタールの農地が農家に貸し出されることになる。また、同次官は、この応募は家族経営農家を強化することや小農地所有者による農地所有を50%から80%に引き上げることを目的としていると述べた。

15 **政府：ハンガリー産野菜・果実の生産増大戦略を検討**（9日）

地方開発省のツェルヴァーン農業担当次官は、政府は今後ハンガリー産野菜・果実の生産を増加するための戦略を検討する予定である。同戦略の目標は年間の野菜・果実の生産を100万トンまで増加させることであり、10万人の雇用を創出することである。政府は同戦略支援や農業機械の購入のために240億フォリントを割り当てる予定であると述べた

16 **国家開発省：地熱エネルギー、炭化水素採掘権の入札を開始**（9日）

国家開発省は、国内7地域において地熱エネルギーと炭化水素採掘権の入札を発表した。同省は、ハンガリーの南東地方において20年間の炭化水素採掘権を与える見込み。また、地熱エネルギーについては、Jaszbereny、Ferencszallas、Kecskemetにおける35年間の採掘権を与える予定となっている。入札の締切りは11月15日までとなっている。その後、90日間で審査が行われる予定。

17 **ハンガリー政府によるIMFローンの繰上返済の実施**（12日）

政府負債管理庁（AKK）は、金融危機のさなかにハンガリー政府がIMFから受け入れたローンを期限前に一括返済したことを明らかにした。返済額は総額21.5億ユーロに上る。返済資金の原資は、未使用のIMFローン、2月に実施した米ドル建て債券の発行及び「P e m a k」と呼ばれるユーロ債の売却により捻出し、追加の債券発行を行わなくとも、十分な準備金を確保し得るとした。なお、IMFも、ハンガリー政府から繰上返済があったことを認めた。

18 **中央統計局：7月の消費者物価指数は+1.8%**（13日）

中央統計局は、2013年7月の消費者物価指数が+1.8%になったと発表した。消費者物価指数の伸びが鈍いが、これは電気・ガス等といった公共料金の強制引下げの影響が主因。また、アルコール飲料、タバコ、食品、サービス等の価格はこれまでの平均値よりは増加したものの、消費耐用品の価格が低下したことも要因として挙げられる。なお、EU27カ国の6月の消費者物価指数は1.7%であった。

19 **マジャール・スズキ社：EU補助金を獲得**（13日）

マジャール・スズキ社は、次世代モデルの開発のため、2億700万フォリントのEU資金を獲得した。同社によれば、この資金は次世代のスィフト、スィフトスポーツ、SX4の開発に使用する予定とされる。

20 **中央統計局：第2四半期GDP(未調整)前年同期比+0.5%(速報)**（14日）

中央統計局は、2013年第2四半期のGDP（未調整）が前年同期比0.5%増加したと発表した。農林水産業および建設業が伸びたことが主因。また、季節調整および暦調整後のGDPは前年同期比+0.1%の増加となった。

21 **中央統計局：6月の鉱工業生産が前年同月比0.6%減少**（14日）

中央統計局は、2013年6月の鉱工業生産が前年同月比0.6%減少したと発表した。輸送機器の生産は増加したものの、通信機器、消費者向け電子機器及び食料品に対する需要が低迷した。

22 **中央統計局：6月の建設生産が前年同月比12.4%増加**（15日）

中央統計局は、2013年6月の建設生産が前年同月比12.4%増加したと発表した。昨年度実績が低調であったことに加え、ビル建設及び道路・鉄道建設の生産増加が大きく寄与した。

23 **中央統計局：6月の農産物生産者価格が前年同月比6.5%上昇**（15日）

中央統計局は、6月の農産物生産者価格が前年同月比6.5%上昇したが、5月の上昇率（同9.2%）を下回ったと発表した。そのうち、農作物の生産者価格は同6.8%上昇し、畜産物・畜産製品の生産者価格は同6.0%上昇した。

24 **EU：ハンガリーへのEU補助金の支給停止**（16日）

首相府幹部は、EUがハンガリーの資金管理システムに違法性があったとして、既に承認済みの15のプログラムのうち13のプログラムについて補助金の支給を停止したことを認めた。

チェプレギ首相府次官補は、マスコミのインタビューに対し、停止された支

給額が 4,000 億フォリントに上ることを認めただうえで、数ヶ月間であれば、予算の流動性を確保できるとした。また、我々の目的は、欧州委員会との間で、最低限のペナルティで合意することであるとし、政府としては、支給再開のため、500 億から 1,000 億フォリントの罰金を受け入れる用意があるとした。

25 **中央統計局：2013 年 1 - 6 月期の平均賃金（グロス）が 3.4%増加**（22 日）

中央統計局は、2013 年 1 - 6 月期の平均賃金（グロス）が、前年同期比 3.4%増加し、22.8 万フォリント、また税金を控除した後の平均賃金（ネット）が、同 4.8%増加し、14.9 万フォリントになったと発表した。

26 **首相府長官：EU 補助金支給停止をめぐり欧州委員会と会談の意向**（26 日）

ラーザール首相府長官が、9 月初旬に欧州委員会のヨハネス・ハーン氏と EU 補助金の支給停止をめぐり会談を行うことが明らかとなった。現在、欧州委員会とハンガリー政府の専門家が支給再開に向けた調整を進めているとされるが、交渉が不調に終われば、ハンガリー政府は、EU 多年度予算（2013-2017 年）における補助金 8 兆 2,000 億フォリントの一部を失う恐れがある。政府としては 500 億～1,000 億フォリントの罰金の支払いにより事態の収拾を図りたい考え。

27 **中央銀行：外貨建てローン債務者の債務免除を提案**（26 日）

中央銀行の高官は、マスコミに対し、外貨建てローン債務者のための為替レートの上限設定スキーム（2012 年に運用開始）の枠組みの中で、スキームの利用者に債務免除を与え、かつ期限を延長することが、当該スキームの利用促進に繋がると述べた。なお、1 スイス・フラン = 180 フォリントを超える部分について債務免除を行った場合のコストは、毎年 300～400 億フォリントに上るとされる。

28 **中央統計局：2013 年 5 - 7 月期失業率は 10.1%**（27 日）

中央統計局は、2013 年 5 - 7 月期の失業者が 1.3 万人減少し、44.6 万人となり、失業率は対前年で 0.4%ポイント低下して 10.1%になったと発表した。男女別では、男性の失業率が対前年で 1.0%ポイント低下し 10.0%、女性が対前年で 0.3%ポイント上昇し 10.2%となった。

また、同局は、就業者数が、前年同期実績より 5.6 万人増加し、396.4 万人となり、就業率（15-64 歳）が対前年で 1.1%ポイント上昇し、58.7%となったと発表した。

29 **中央銀行：基準金利を 3.80%に引下げ**（27 日）

中央銀行は、定例の金融政策委員会会合を開き、基準金利を 0.20%ポイント引き下げて、3.80%とすることを決定した。同委員会は過去 12 カ月間にわたり毎月 0.25%ポイントずつ基準金利を引き下げてきたが、ここにきて初めて引下げ幅を 0.05%ポイント縮小した。ハンガリー中央銀行のマトルチ総裁は、7 月の会合の後、今後も基準金利の引下げを継続するが、下げ幅は縮小する、最終的には 3.0~3.5%程度まで引き下げると発言していた。

30 **銀行協会：外貨建てローン債務者の救済措置案を政府に提示**（27 日）

銀行協会は、ハンガリー政府からの要請を受け、外貨建てローン債務者の救済措置案をとりまとめ、ハンガリー政府に提示した。救済案は、外貨建てローンのフォリント建てへの転換、利息の補填及び為替レートの上限設定のコンビネーションであり、銀行が負担（為替差損等）の大部分を引き受け、政府と借主がその一部を引き受けるといったもの。

なお、この発表を受け、ヴァルガ国家経済相は、銀行は自分たちの立場を守ろうとしているが、今回の銀行協会からの提案が今後の交渉の基礎となると述べた。

31 **首相府：EU補助金制裁は 250 億~1,250 億フォリントの見込み**（28 日）

チェブレギ首相府次官補は、EU補助金の支給停止に関する制裁金が 250 億~1,250 億フォリントに上るとの見通しを明らかにした。罰金の支払いではなく、補助金の支給停止となるが、失った補助金については再申請を行う可能性があるとのこと。対象となった 13 のプログラムのうち、10~11 のプログラムについては 9 月 9 日に合意に達する見込みであるが、2~3 のプログラムについては、決着に 1~2 カ月かかる見込み。ハンガリー政府が、開発プログラムの入札参加者の資格要件として、ハンガリーのエンジニア協会のメンバーであること、ハンガリー語でのコミュニケーション知識を有すること等を要求していたことが問題視された。

32 **国家経済省：2014-2020年のEU補助金の用途**（28日）

国家経済省のチェーファルヴァイ次官（国会対策・経済戦略担当）は、7兆3,000億フォリントの2014-2020年のEU補助金の用途について話し合われた国家経済・社会評議会のビジネスフォーラムにおいて、政府としては、EU補助金を高付加価値プロダクトの製造、雇用の増大及び経済成長に充てることを考えており、資金の60%を経済発展に使いたいと述べた。

33 **国家経済相：外貨建てローン債務者の救済措置の検討状況**（29日）

ヴァルガ国家経済相は、外貨建てローン債務者の救済措置として、中央銀行により提示された債務免除案と、銀行協会から提示された救済措置案の双方を検討しているが、28日に実施された閣議では結論は出ず、銀行協会との協議を継続すると述べた。

34 **中央銀行：「成長のための資金スキーム」に1,840億フォリントの申込み**（29日）

中央銀行は、「成長のための資金スキーム」の下で、銀行と中小企業との間に1,840億フォリントの融資契約が成立したことを明らかにした。このうち新規融資は1,240億フォリント、外貨建てローンからフォリント建てへの借換えが600億フォリントであったとされる。

35 **中央統計局：2013年第2四半期の投資が前年同期比4.6%増加**（30日）

中央統計局は、2013年第2四半期の投資が前年同期比4.6%増加したと発表した。機械・設備が+2.4%、建設投資が+5.8%と大きく増加したことが主な要因。

36 **中央統計局：7月の鉱工業生産者価格が前年同月比0.2%上昇**（30日）

中央統計局は、2013年7月の鉱工業生産者価格が前年同月比0.2%上昇したと発表した。エネルギー産業の価格は上昇したものの、製造業の価格はわずかに低下した。

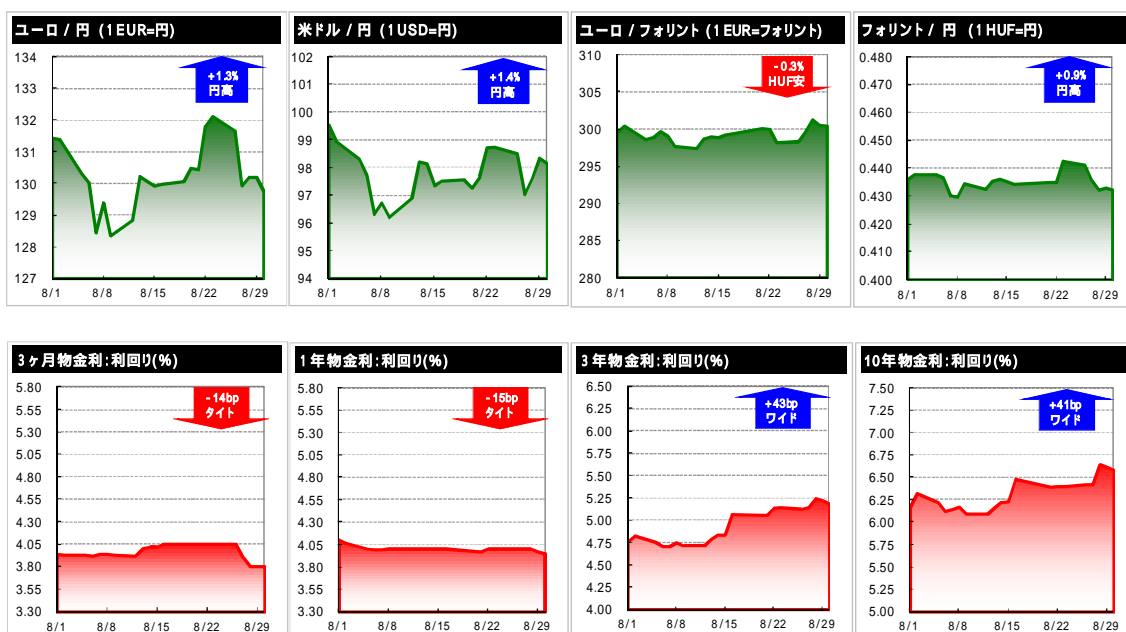
37 **首相府長官：インド訪問**（30日）

シーヤールトー首相府長官（外交・対外経済関係担当）は、10月に予定され

ているオルバーン首相のインド訪問準備のため、インドを訪問した。訪問中、同長官はハンガリー・インド合同経済委員会共同議長との面談や自動車部品製造協会幹部等と面談したとされる。また、同長官によれば、ハンガリーとインドは両国の中小企業間のビジネス関係を支援するために両国は共同ファンドを設立する予定であるとした。

その他

《8月の為替・金利動向》



《8月の選挙・支持政党に関する世論調査》(注)

(1) 支持政党の変遷(確実に投票に行くと回答し、いずれかの政党を選択した者の支持政党)

	(6月)	(7月)	(8月)
フィデス(Fidesz)	: 49%	50%	49%
社会党(MSZP)	: 27%	27%	26%
ヨッビク(Jobbik)	: 12%	12%	12%
新しい政治の形(LMP)	: 2%	2%	3%
民主連合(DK)	: 2%	2%	2%
共に2014年・ハンガリーのための対話(E2014-PM)	: 8%	7%	6%
その他の政党	: 1%	1%	2%

(2) 質問事項: 仮に今週日曜日に総選挙があるとすればどの党に投票するか(質問者全員よりの回答)

	(6月)	(7月)	(8月)
フィデス(Fidesz)	: 25%	25%	26%
社会党(MSZP)	: 15%	15%	15%
ヨッビク(Jobbik)	: 6%	7%	8%
新しい政治の形(LMP)	: 2%	2%	2%
民主連合(DK)	: 1%	1%	1%
共に2014年・ハンガリーのための対話(E2014-PM)	: 4%	4%	4%
その他の政党	: 1%	1%	1%
わからない, 投票しない	: 47%	45%	43%

(注) ソンダ・イプソス社調べ(8月6日~13日データ収集, サンプル数: 18歳以上の市民1,500人)

2013年8月の出来事

日	内政	日	外政
6	・ブダペスト地裁, ロマ連続殺害事件の実行犯に対し終身刑の判決	6	・【外務省】エジプト都市部におけるデモの多発を受け, 同国渡航者に対して注意喚起
8	・【大統領】次期人権オンブズマン候補にセーケイ ELTE 大学教授を指名	10	・【ヨピック】ヴォナ党首による問題発言(於: ポルゾン)
12	・98歳のナチス戦犯チャターリ被告が死亡	11	・ルーマニア外務省, ヨピック党首の発言を非難
14	・【首相】故サライ国家メディア通信庁長官の後任にカラシュ・モーニカ女史を指名	12	・バセスク・ルーマニア大統領, ハンガリー政治家のルーマニア国内での行動を批判 ・駐ルーマニア・ハンガリー大使, 政府の立場を弁明
19	・【大統領】国家メディア通信庁長官にカラシュ女史を指名 ・【首相】建国記念日のスピーチ(於: セーケフェールヴァール)	13	・メシュテルハージ社会党党首, バセスク・ルーマニア大統領発言を批判
20	・【大統領】建国記念日のスピーチ	14	・【ネ外務次官】バセスク・ルーマニア大統領発言に関するコメント
21	・内閣, 教職員の賃上げ法案を臨時国会提出	15	・【ネ外務次官】駐ハンガリー・ルーマニア大使を召致 ・【外務省】エジプト情勢に対する懸念及び非難声明
23	・【社会党】【共に2014年】選挙協力交渉	16	・【外務省】岸田外務大臣のハンガリー訪問を発表
29	・【社会党】【共に2014年】選挙協力合意成立	17	・【外務省】エジプトへの渡航延期勧告
		21	・【外相】欧州外務理事会臨時会合
		22-24	・岸田外務大臣, 当地訪問
		25	・【外務省】シリアにおける化学兵器使用報道に関する非難声明発表
		27	・【外相】タディッチ前セルビア大統領と会談

Hungary

Embassy of Japan in Hungary

1125 Budapest Zalai ut 7. Hungary
TEL: +36-1-398-3100

E-Mail

政務関係 : political@bp.mofa.go.jp

E-Mail

経済関係 : economic@bp.mofa.go.jp

E-Mail

広報文化関係 : culture@bp.mofa.go.jp

E-Mail

領事関係 : consul@bp.mofa.go.jp